

当院ではさまざまな消化器の疾患に対して、
積極的に**腹腔鏡手術**を行っています。



当院で腹腔鏡手術が可能な術式とおよその入院期間

- 腹腔鏡下胃切除術（胃部分切除、幽門側胃切除、胃全摘）・・・10-14日間
 - 腹腔鏡下大腸切除術（結腸切除、直腸切除）・・・7-10日間
 - 腹腔鏡下胆嚢摘出術・・・4-6日間
 - 腹腔鏡下虫垂切除術・・・3-5日間
 - 腹腔鏡下そけいヘルニア手術・・・3-5日間
 - 腹腔鏡下腹壁ヘルニア手術・・・4-7日間
 - 腹腔鏡下胃・十二指腸潰瘍穿孔閉鎖術・・・7-10日間
 - 腹腔鏡下肝部分切除術・・・7-10日間
 - 腹腔鏡下イレウス解除術・・・10-14日間
 - 腹腔鏡下人工肛門造設術・・・10-14日間
 - 腹腔鏡下直腸脱根治手術・・・7-10日間
- など

上記の入院期間はあくまで目安であり、手術の状況や術後の経過に応じて延長となる場合があります。

腹腔鏡手術とは・・・

腹腔鏡手術は、臍部（おへそ）から直径 5～10 mm の内視鏡を腹腔内に挿入し、テレビモニター上に映し出された映像を見ながら手術を行う新しい術式です。

一般的な開腹手術は、図 1 に示すような 10～15 cm の皮膚切開で行われますが、腹腔鏡手術は図 2 に示すような 5～12mm の皮膚切開 1～4 か所で行われます。したがって、**腹腔鏡手術は皮膚切開創が開腹手術よりも小さく、美容的にも優れ、手術後の痛みも開腹手術に比べ軽いのが特徴です。**そのため、術後の回復が早く、入院期間の短縮と早期に社会復帰できることが最大の利点です。

図 1 一般的な開腹手術

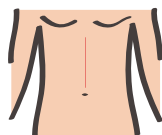
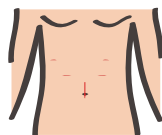


図 2 腹腔鏡手術



費用について

手術はすべて健康保険が適用され、手術の種類により費用は異なりますが、その 1～3 割が自己負担となります。

また腹腔鏡手術には、原則として高額療養費制度が適用となります。詳細は事務職員にお尋ねください。